

## ブータン歌謡カプシュの実際

### — タシガン・メラ村の場合 —

## The present state of *Khapsho* singing in Bhutan: A focus on the case in Merak, Trashigang Dzongkhag

伊野 義博\*・黒田 清子\*\*・権藤 敦子\*\*\*・Pema Wangchuk\*\*\*\*

### 1. はじめに

これまでブータン王国でひろく歌われているツァンモ (*tsangmo*) と呼ばれる歌謡について報告を行ってきた。ツァンモは、主としてブータンの国語であるゾンカ (Dzongkha) により歌われてきた一方で各地の方言によっても歌われる。各6音節4行の詩、全24音節から成る歌詞が一定の節に乗せて歌われる。歌詞は定まった歌詞や言い回しがある一方で、替え歌や即興的創作がなされることもある。歌唱の形態は、二人もしくは二組が対峙して座り、交互に歌を掛け合うことで互いの相性を占ったり、戦ったりする遊びの「うた」である。このようなツァンモの実際について、西部ブータンのパロ (Paro)、古都プナカ (Punakha)、中央ブータンのトンサ (Trongsa) における調査結果について報告してきた (伊野2012, 伊野, 黒田2014, 伊野ほか2014)。これらの調査に続き、今回東部ブータンのタシガン (Trashigang)・メラ村 (Merak) で調査を行った。



図1：ブータン地図 (黒田作成2014)

2014.11.14 受理

\* 新潟大学教育学部芸術環境講座

\*\* 中部大学人文学部

\*\*\* 広島大学大学院教育学研究科

\*\*\*\* 通訳・ガイド (フリーランス)

メラ村では、ツァンモではなくカプシュー (*khapsho*) と呼ばれる歌謡とツァシググ (*tsa shi gu gu*) と呼ばれる質問に対して答えるなぞなぞがみられた。ただし、カプシューはツァンモと全く無関係なのではない。カプシューの旋律はツァンモと共通したものもみられ、その影響関係が見受けられた。本稿は、このメラ村におけるカプシューとツァシググについての調査報告である。

## 2. メラ村と調査の概要

ブータン東端タシガン・ゾンカック (Trashigang Dzongkhag) サクテン郡 (Sakteng dungkhang) にはメラとサクテンの二つのブロック (*gewog*) がある。メラ・サクテンの住民はブロッパ (*Brokpa*) と呼ばれる放牧を生業とする牧畜民である。言語はチベット・ビルマ語族のブロッパケ (*Brokpake*) であり、ブータンの国語であるゾンカや東ブータンのシャルチョップカ (*Sharchopkha*) よりも隣接するインド・アルナーチャル・プラデーシュ州のモンパ (*Monpa*) の言語と共通する (脇田2007)。また、ブロッパの祖先がチベットから移住してきたことをうかがわせるアマ・ジョモ (*Ama Jomo*) 伝説の伝承をもつ。ブロッパの人々はこの女神アマ・ジョモへの畏敬の念が強く、アマ・ジョモにまつわるタブー、祭り、聖地をもつ。ブータンの民族衣装は男性はゴ (*go*)、女性はキラ (*kira*) を着るとされているが、ブロッパの人々は、男性はチュバ (*chuba*) という小豆色の羊毛の上着、女性は貫頭衣シンカ (*shingka*) に上着トゥドウン (*todung*) という独自の衣装を着る (Raghubir 2004:70-14, 脇田2010)。特徴的なのは雨を妨げることができるというヤクの毛をフェルト状にして房をたらしした帽子 (*chiipa shamo*) である。メラ地域は標高3500メートルの山岳地帯に位置する。メラ地域はMerak, Gengu, Kharshithang, Khilphuの4つの村がある。メラ地域全体の面積は867.7km<sup>2</sup>, 231世帯、人口は1,957人である (Dzongkhag Administration, Trashigang 2014)。今回の調査地はメラ地域のメラ村である。

メラ村に限らずブロッパの人々の音楽文化に関する報告はほとんどない。ブロッパの歴史や生業に関して詳細な報告を行っている *BROKPAS: The Hidden highlanders of Bhutan* においても 'Festival and dances' の項目でゲル・リンポチュの誕生日を祝う仮面舞踊 *truelda tshechu*、ヤクの来歴話を伝える無言劇 *yak chham*、将軍の勝利を祝う仮面舞踊 *acho lamai chaam* に関する報告のみである (Raghubir 2004)。

調査は、2014年9月18日から9月29日までのブータン滞在のうち、9月20日から26日までの6日間メラ村



に滞在し行った。ゲストハウスにインフォーマントを招き、カプシューの再現とインタビューをする形でなされた。

調査者は、日本側から伊野、権藤、黒田の3人、ブータン側からはペマ・ウォンチュク (Pema Wangchuk, 通訳) である。

写真24：メラ村全体 (Ministry of Works and Human Settlements 2014)

### 3. メラ村でのカプシューの実際

#### 3.1. カプシュー概要

2014年9月22日にゲストハウスに集まったインフォーマントは8名である。①Rinchen Dorji (29歳・男性) ②Sangay Tshomo (51歳・女性) ③Pema Uyden (30歳・女性) ④Karma Dema (20歳・女性) ⑤Ngwang Jampa (52歳・男性④の父) ⑥Lobzang (62歳・女性) ⑦Kunzang (51歳・女性) ⑧Sonam (41歳・女性)。この8名にカプシューの再現とインタビューを行った。その後23-24日に①③④の3人とゲストハウスにて、歌詞内容の確認作業などを行った。25-26日は歌詞に現れた情景や動植物の記録を行った。



写真25: インフォーマント、左から①②子どもをとばし③④ (伊野2014)



写真26: インフォーマント、左から⑤⑥⑦⑧ (伊野2014)

インフォーマントによると、メラ村にはカプシューと呼ばれる歌謡とツァシググと呼ばれる質問に対して答える言葉のみのなぞなどがあるという。カプシューは徐々にゾンカ、ツァンモの影響を受けたが現在もツァンモとはいわずカプシューとして歌っている。しかし、ツァンモに近いものであるとも思っている。調査前日の⑦Kunzang氏の話では、カプシューは本来言葉だけのものであったが、約40年前からラジオから流れるツァンモの影響を受け、ツァンモの旋律でも歌うようになったのではないかということであった。メラ村の人々は9月の祭りの後5月まで南の方へ家畜の放牧にでかけテント生活をおくる。牛とヤクを交配したゾー(zoo)などの家畜を放牧させている時や放牧期間中の夜に暇だからカプシューを歌ったという。

#### 3.2. カプシュー (※○の中の数字は歌った人を示している)

##### 1 ⑦⑧

Jew gi chang lo ga song ley song ley ya la	小鳥は稲を好き
Chang la jew lu ga song ley song ley ya	稲も小鳥を好き
Jew chung ke ki kesong ley song ley ya la	小鳥の声を聞くと
Chang mo nangse jur song ley song ley ya	稲は心がさびしくなる

(好きな人の声だけが聞こえる。それを聞くと寂しい。懐かしい。私は動くことができない。)

##### 2 ② (歌なし)

Khawa lang ni zha yoe	雪のように (たくさん) きても
Khapshu cho ngan jung na	カプシューがいっぱい来ても
Dri khai tshen la dur sho	ナイフの先端でカットする

##### 3 ⑦ (歌なし)

Yun ni zhu chi khur sho	左から弓があった
-------------------------	----------

En ni dha chi khur sho 右から矢があった  
 Na dang pang gi bar la 森とパン（平地）の間の  
 Shawa thar sa mindu 鹿は逃げるできない  
 （カラーページ写真3参照）

4 ②（歌なし）  
 Nam dang tring gi bar la 空と雲の間に  
 Druk gi go nga zha yoe 竜の卵があった  
 Achi kepa Jung na 何でも知っているお姉さん  
 Go nga ngop ta jey sho この卵は誰のですか  
 （カラーページ写真4参照）

5 ⑦（歌なし）  
 Shogu jasho karpō インドの白い紙  
 Na tsa mi Len Sam gi インクをもらいたくない  
 Nue gu dang sang wangpi ダンサンウォンビのペンが  
 Ga la throe throe in pey 好きなように書きます  
 （ペンに好きなように書かれてしまう。あなたは強いので、わたしはそうしたくないけれど、あなたの好きなようになってしまう。）  
 ※Dang sang wangpi メーカー名

6 ②（歌なし）  
 Phi ri pang mey lo la ここから離れた遠いところに  
 Jiru daksa dokpo 赤珊瑚の宝石がいっぱいある  
 Yakpo yakpo tey na よくよく見ると  
 Luk ki tukpa dra song 羊の糞に似ている  
 （カラーページ写真5・6参照）

7 ⑦（歌なし）  
 Lhasa dop zha ten la ラサに石の床が敷いてある  
 Yue in do in mashey それが青いトルコ石のユエかどうかわからない  
 Yakpo yakpo tey na よくよく見てみると  
 Yue da do la jur song ユエは全部石でした  
 （カラーページ写真7参照）

8 ②（歌なし）  
 Phi ri pang mey lo la ここから離れた遠いところに  
 Ji chung cha cha chi chi 小鳥がチャチャチチ鳴いている  
 Ke chi ha ni ma go 何を言っているか分からない  
 Rang sem zu ni doewong 自分の心は掴んでる  
 （あなたはいろいろ言っているけど、私には分からない。自分のところは、自分で掴んでいて、そっちには  
 いかない。あんたたちチャラチャラ言っているけど、私は相手にしないよ。）

9 ⑦  
 Phi ri pang mey lo la ここから離れた遠いところに  
 Yak chung repa la si si 毛の長いヤクがいた



Bes gur dung ni ma tan (塩と小麦粉の入っている) カバンを叩かないと  
 Yak chung yong sa mindu ヤクが来ることができない  
 (ヤクが長い毛を見せびらかしていっぱっている, そのようなあなた, 私のサポートがないと何もできないで  
 しょう。威張っていても私がカバンを叩くと寄ってくる。)  
 (カラーページ写真8参照)

## 10 ③

Pang tey tsa ga la yang song 平なところに, 草がいっぱいありました  
 Zoomo pey ka la duk song ゴモが美しくないです  
 Zoomo pey ka duk na ゴモが美しくなくても  
 Nor bi la rikshey in pey 宝石の仲間です  
 (よく見たら素晴らしい人でした。例:外から見ると良い家で無かったけれど, 中に入ると良い人がいました)  
 (カラーページ写真9参照, ゴモはゾーの雌のこと。)

## 11 ⑤

Yar yar ri bi tse la 山の上の頂きで  
 Kiphu pha yuk tsur yuk 犬があつちに走ったりこっちに走ったり  
 Jinpa tup ni ma to 首を切らないと  
 Dom dom la phi sa mindu 首輪を取ることができない  
 ※ドンドン ヤクの毛で作った首輪  
 (犬は首輪を外したがるが, 首を切らなくてははずせない。私があなたにした悪いことによって, あなたは  
 これから何をしても良いことがない。例:あなたの経営しているホテルの食事がまずいと宣伝した。あなた  
 がいくらホテルを新しくしても, その評判が付きまとうので, 経営はうまくいかない。)  
 (カラーページ写真10参照)

## 12 ③

Oro nam la la ginsho ワタリガラスが空に飛んで行った  
 Go nga sa la lu song 卵が土に残った  
 Oro ninji yoe na ワタリガラスに優しい心があれば  
 Go nga la len dro phi sho 卵を取りに来て下さい  
 ※Oro ワタリガラス 国鳥  
 (カラーページ写真11参照)

## 13 ⑥ (7と同じ, 歌なし)

Lhasa dop zha ten la ラサに石の床が敷いてある  
 Yue in do in mashey それが青いトルコ石のユエかどうか分からない  
 Yakpo yakpo tey na よくよく見てみると  
 Yue da do la jur song ユエは全部石でした

## 14 ③

Lhasa la dop zha la ten la ラサの石の床の上  
 Goto kharpo la ney song 白い雄鶏が来た  
 Goto kharpo marey 白い雄鶏では無かった  
 Lhasa la kharpo jursong ラサの城だった  
 ※Goto 雄鶏  
 ※ラサの寺は白い

(カラーページ写真12参照)

15 ⑦⑧

Karyu karsang la nang la	中国製の白いお椀の中に
Sengi woma la lu yoe	ライオンのミルクを入れた
Rangsem gawe mi la	私が心から好きな人
Woma zhey la phi song	ミルクを飲んでください

※Karyu 中国製のお椀

※Sengi woma 特別なミルク, 特別なもの

※この歌詞は, 宴席でも用いられ。例えば, 酒を勧める際に歌われる。

16 ③

Tsenden dong pey la tse la	糸杉のてっぺんに
Tey nyan wokpa la ney song	とても悪いウォクパという鳥がいた
Cha ki kampa khur sho	チャキカンパを持って来て下さい
Wokpa la marshey thang go	ウォクパを殺しましょう

(あなたは悪い人, 何かを持って来て, やっつけてしまうわよ)

※Cha ki kampa 鳥を挟んで捕まえる道具, 罠

17 ⑤

Choe ni la nenbu nakpo	あなたは黒い羊の毛
Khado la jur sa mindu	ずっと変わらない
Nga ni nenbu kharpo	私は白い羊の毛
Khar do la ga ley jur jur	どんな色にも変わることができる

(あなたは変わらない悪い人, 私は白い良い人, 何をしても成功する。)

※Nenbu 羊の毛

※黒い人: 悪い人, 白い人: 良い人

18 ③

Choe ni gurshi choema	あなたはグルシからとった油のランプ
Nga ni margi choema	私はマルギからとった油のランプ
Lhakang chigi nang la	一つの寺の中で
Gyawo su yu gayo tang gu	どちらが明るいか見てみましょう

(どっちが強いかなやってみましょう)

※Gurushi 木の名, 南部の低地で取れる

19 ⑤ (8と同じ)

Phi ri pang mey lo la	ここから離れた遠いところに
Ji chung cha cha chi chi	小鳥がチャチャチチ鳴いている
Ke chi ha ni ma go	何を言っているか分からない
Rang sem zu ni doewong	自分の心は掴んでる

(あなたはいろいろ言っているけど, 私には分からない。自分のところは, 自分で掴んでいて, そっちには  
いかない。あんたたちチャラチャラ言っているけど, 私は相手にしないよ。)

20 ①②

Phi ri pang me lo la	ここから離れた遠いところに
----------------------	---------------

Mento name natso 色んな種類の花がたくさん  
 Mikla tsupei mento 自分の目に合う花は  
 Chikda ni ley mindu 一つか二つしかありません  
 (あなたのしていることはいっぱいあります。でも良いことは一つか二つしかありません。)  
 (カラーページ写真13参照)

## 21 ⑤⑥

Dukshing takki mento タッキという毒の木の花  
 Lha lha phi sa mi 仏様にお供えできない  
 Khanjam ding gi keichi 悪い心を持って優しく語る言葉  
 Nga la dro sa mi 私には許されない  
 ※Dukushing 毒の木  
 ※Dukshing takki タッキという毒の木の花でとても美しい

## 22 ①②

Shing chi bang ba lakpa バンバラクパという木  
 To shing re yang mire ご飯を炊く薪とは思わない  
 Chumo ja ra ji ri 少しの湧き水  
 To chu re yang mire ご飯を炊く水とは思わない  
 Mi chi yama tha ma 変な悪い人  
 Nyendro re yang mire カップルになろうとは思わない  
 ※Bang ba lakpa 燃やすと悪臭が出る。燃やしてはならない木で、生き物が病気になると言われている。  
 ※Nyendro カップル

## 23 ⑦

Lhasa dop zha ten la ラサの石の床の上  
 Drik Chung cha gi dong pa 短く幅が広いナイフがある  
 Da ni mi chi se song 毎日一人殺しても  
 Dha lu dri kha mindu 誰もナイフに文句を言えない  
 (私が何をしてもあなたは何も言えない。私はそれほど強い。)  
 ※ライキチュンチャギ 短く、幅の広いナイフ

## 24 ①②

Achi se lo mi lu 美しいお嬢さん  
 Ser gi tsi kap gon sho 金の指輪をつけている  
 Ley dang mi lam yoe na もし縁があったら  
 Pako nang la chuk sho 財布の中に入れてください (入って下さい)

## 25 ⑦

Achi dung gi loma 普通のお嬢さん  
 Dung gi tsi kap gon sho 銀の指輪をつけている  
 Achi ngoley jung na もしあなたが良かったら (指輪だけでなく)  
 Dung gi loma khur sho 私も連れてってください  
 Ley dang mi lam yoe na もし縁があったら  
 Pako nang la chuk sho 財布の中に入れてください

## 26 ①②

Phi ri pang mey lo la  少し離れた遠いところ  
 Nama pakan tuk  お嫁に行く時  
 Nama dhadar tsuk na  お嬢さんのダダルが無かったら  
 Jew gi zhung ma khur sho  小鳥の尾の羽をつけてください  
 ※ダダル 結婚の時に頭に巻く五色の布  
 (相手を侮辱)  
 (カラーページ写真14・15参照)

## 27 ⑤⑥

Choe ni lugu nakpo  あなたは黒い羊  
 Nga ni lugu karpō  私は白い羊  
 Choe ni lugu nakpo  あなたは黒い羊  
 Tsa ga za sa mindu  草も食べることができない  
 (相手を侮辱 あなたは何もできない)  
 (カラーページ写真16参照)

## 28 ①②

Nam dang tring gi bar na  空と雲の間から  
 Nim da dawa shar song  太陽と月が出ている  
 Achi kidpo jung na  何でも知っているお姉さん  
 Nima nyop da jey sho  どれが太陽か言ってください  
 (知識を問う。知っていないでしょうと挑発する)

## 29 ⑦⑧ (12と同じ)

Ro nam la ginsho  ワタリガラスが空に飛んで行った  
 Go nga sa la Lu song  卵が土に残った  
 Oro ninji yoe na  ワタリガラスに優しい心があれば  
 Go nga len dro phi sho  卵を取りに来て下さい  
 ※Oro ワタリガラス 国鳥

## 30 ①② (9と同じ)

Phi ri pang mey lo la  ここから離れた遠いところに  
 Yak Chung repa si si  毛の長いヤクがいた  
 Bes gur dung ni ma tan  (塩と小麦粉の入っている) カバンを叩かないと  
 Yak Chung yong sa mindu  ヤクが来ることができない  
 (ヤクが長い毛を見せびらかしていっぱっている, そのようなあなた, 私のサポートがないと何もできないで  
 しょう。威張っていても私がカバンを叩くと寄ってくる)

## 31 ⑤

Phi ri pang mey lo la  少し離れた遠いところ  
 Raksha zhung ma yukki  猿が尾を振っている  
 Achi nama kher zin  お嫁に行く時  
 Mik chu sha ma jey sho  涙を拭うのに使ってください  
 (侮辱)



## 32 ①② (3と同じ)

Yun ni zhu chi khur sho  
 En ni dha chi khur sho  
 Na dang pang gi bar la  
 Shawa thar sa mindu

左から弓があった  
 右から矢があった  
 森とパン（平地）の間の  
 鹿は逃げるできない

## 33 ⑦⑧

Jalam yok gi chorten  
 Go mi zhu mi  
 Dung na nga mey mindu  
 Zha na woe mindu  
 (あなたは役に立たない。)  
 (カラーページ写真17参照)

道の下にあるチオルテン（仏塔）  
 頭部もない下部もない  
 叩くと音もしない  
 置いておいても使わない

## 34 ①②

Yar yar ri bi tse la  
 Jaling phoke moke  
 Phugin su in mashey  
 Nga rang na wa cho song

山の上の頂きから  
 ジャリンの高い音低い音  
 誰が吹いているのかわからない  
 心が寂しいです

※ジャリンはチャルメラ系の楽器。ジャリンの音は皆の好きな音。

## 35 ⑥ (6と同じ, 歌なし)

Phi ri pang mey lo la  
 Jiru daksa dokpo  
 Yakpo yakpo tey na  
 Luk ki tukpa dra song

ここから離れた遠いところに  
 赤珊瑚の宝石がいっぱいある  
 よくよく見ると  
 羊の糞に似ている

## 36 ①②

Mar mar dhun sum rong la  
 Pangma tsu ma jey sho  
 Achi yar dro ma dro  
 Pangma chi ley mindu  
 (あなたはそれくらい貧乏です。)

川や谷の下の方  
 ご飯のおかずをつくる用意をしている  
 お姉さんが上へ行っても下に戻って来ても  
 おかずは一つしかない

## 37 ⑤

Mar mar dhun sum rong la  
 Makpon thay da khawa  
 Tochi dampa ze na  
 Makpon ga ley lang song

川や谷の下の方  
 マクボンになりたい人が出た  
 いつも一緒にご飯を食べているのに  
 どうやってマクボンになりますか

※Makpon 軍人の最高位

(いつも一緒のご飯を食べているのにどうしてあなただけそんなことができるのでしょうか。)

## 38 ①②

Mar mar dhun sum rong la  
 Tsemzo lang tha khawo  
 Khap dang kut pa mey na

川や谷の下の方  
 服職人になりたい人が出た  
 針と糸が無いのに

Tsemzo ga ley lang khu どうやって服職人になりますか

39 ⑦⑧

Mar mar dhun sum rong la 川や谷の下の方  
Tsorgen lang tha kha wo 大臣になりたい人が出た  
Tochi dampa zer na いつも一緒にご飯を食べているのに  
Tsorgen ga ley long gu どうやって大臣になりますか

40 ①② (10と同じ)

Pang tey tsa ga yang song 平なところに、草がいっぱいありました  
Zoomo pey ka duk song ゴモが美しくないです  
Zoomo pey ka duk na ゴモが美しくなくても  
Nor bi la rikshey in pey 宝石の仲間です  
(よく見たら素晴らしい人でした。例:外から見ると良い家で無かったけれど、中に入ると良い人がいました)

41 ⑤

Ra go ding ne thoen pey 家の床下から  
Kibu na ley dong chung ドウンチュンという犬  
Nga la muk tu yong na 私を咬みに来たら  
Choe rong che wa cha wong あなたの牙は壊れます

42 ①②

Rok tsang to gi ama 竈のところにいるお母さん  
Ama tsip za lhamo ツイブザを持っている  
Nga la dung dung yong na 私を殴りに来たら  
Choe rong tsip za cha wong あなたのツイブザ壊れますよ

※Tsip za 米を炊く際かき混ぜる道具

沸騰したら蓋を取って、数回かき混ぜる、数分おいて、何回か繰り返す。ご飯になったら、水分を捨て、火の上で少し蒸らす。蓋の上にも炭を置き上と下から蒸らす。

(カラーページ写真18参照)

43 ⑤

Ma zhuk ten ki chama 入り口のドアの床の箒  
Cha cha mang bo jya sho 何回も掃除をしている  
Cha cha mang bo jya kha 何回も掃除をすると  
Bar la sa la gang wong バラバラになってしまう

(無意味にただ掃いてばかりいると箒がだめになる。あなた意味のないことばかり言うから嫌になってしまう。良いこと言わないとやめちゃうわよ。)

(カラーページ写真19参照)

44 ①② (41と同じ)

Ra go ding ne thoen pey 家の床下から  
Kibu na ley dong chung ドウンチュンという犬  
Nga la muk tu yong na 私を咬みに来たら  
Choe rong che wa cha wong あなたの牙は壊れます

## 45 ⑤

Ri gu tse ni thun pey	山の上の頂き
Yak chung re pa sik sik	ヤクが毛を震わせている
Nga lu dung dung yong na	私を角で突いてきたら
Khoe rong ra zhu re yong	あなたの角は欠けて一本になってしまう

## 46 ①②

Choe ni bang zan dokpo	あなたはトウモロコシの粉のおにぎり
Nga ni mar zan dokpo	私はバターのおにぎり
Bang shung chik gi nang la	一つのバンシュンの中で
Zhim ngar su yo ta ku	どちらが美味しいか決めましょう

※Bang shung 竹で作った弁当かご

## 47 ⑥⑧ (17と同じ)

Choe ni la nenbu nakpo	あなたは黒い羊の毛
Khado jur sa mindu	ずっと変わらない
Nga ni nenbu kharpo	私は白い羊の毛
Khar do la ga ley jur jur	どんな色にも変わることができる

(あなたは変わらない悪い人, 私は白い良い人, 何をしても成功する。)

※Nenbu 羊の毛

※黒い人：悪い人, 白い人：良い人

## 48 ②

Yar yar ri bi tse la	山の上の頂きで
Tha la bumpa zha yoe	コインのブンパがあった
Dung na nyam ya mindu	叩くと音も無いし
Zha na wo ya mindu	使う必要がない

※Bumpa 聖水入れ

(あなたは何も役に立たない。)

## 49 ⑥⑦⑧

Gyel bi zimchu nang la	国王の家から
Gekki yer bu sik sik	ゲキの鈴の音シクシク
To ni gye bi na wong	ご飯は国王があげる
Go ni nga la mi go	服はいらない

※Gekki 犬の一種, 白くて小さい

(自分のところには充分あるのでサポートは必要ない。ご飯をくれる国王のような人がいるのであなたは必要ない。)

(カラーページ写真20参照)

ここでカプシューの掛け合いは一旦終了し、勝敗が決定した。次によく知っていた人が覚えていた、もしくは思いだしたカプショーを引き続き行った。

## 追加1 ⑤

Phi ri pang me lo la	少し離れた遠いところ
Khadha phar yuk tsu yuk	白い旗が右左と振られている

Yakpo yakpo tey na                      よくよくみたら  
 Phunpo kharpo dra song                サルオガセだった  
 (最初は良いと思ったがそうではなかった)  
 (カラーページ写真21・22参照)

追加2 ⑧

Rinchen ser gi ngu tri                  宝石のような金銀の椅子  
 Takpo cha na cha song                いつか壊れてしまう  
 Ley ngan trangmo nga rang            運がない私だけど  
 Cha ni duk sa mindu                   壊れたものを寂しく思う暇がない  
 (壊れてもがっかりする余裕などない。たとえあなたが死んでも、寂しがっている暇もない。)

### 3.3. カプシューに関するインタビュー

今回再現したカプシューは旋律に言葉をのせたツァンモに類似したものもあれば、詩文を読む言葉だけのものもみられた。そこで、カプシューとツァンモの関係性について聞くと、今再現したものはカプシューとしてやっているという。ただし最近のもの、西から来たものはツァンモと言うこともあるという。カプシューは昔から言葉の朗読であったり旋律にのせて歌ったりしていた。そこに西からきたツァンモの旋律や新しい歌などいろいろなものを取り入れたのだという。当初、調査前日の⑦Kunzang氏の話からカプシューは元々言葉だけのものでそこにツァンモの影響を受け旋律をつけたと推察していたが、この件に関してはさらに検討する必要がある。

カプシューの遊び方は、二組にわかれて対峙して座り、相手の歌を聴いてそれに返事をするかたちである。次の歌がでなくなってしまう人もしくはグループが負けとなる。これはこれまでみてきたツァンモ・ツェニ (*tsangmo cheni* 戦い) の形態と共通する (伊野, 黒田2014)。今回は右側4人と左側4人に分かれ、掛け合いが続いたが49回目の右グループの歌の後、左グループから歌が返されなかったため左側の負けとして終わった。

カプシューをどういう時に歌ったのかという歌唱機会についての質問には、一つ目は放牧の時、二つ目は何もすることがない時の遊びとして、三つ目は今日のように人々が集まった時、そしてお正月だという。また、放牧をしている時に男性が女性にカプシューを掛けて、仲良くなるような歌垣の習慣に関する質問には、一人二人はいたかもしれないとのことであった。

印象的であったのは、最近カプシューは歌われないということである。調査の時も歌詞を思いだしながら歌ってもらうという状況にあった。最後にカプシューをしたのはいつかという質問に対して、51歳の②Sangay氏は25歳の時であり25年ぶりだと言う。また現在52歳の⑤Ngwang氏はカプシューをやらなくなって30年くらい経ったと言っていた。これも20-40年ぶりだと言っていたツァンモの状況と類似する点であった (伊野, 黒田2014)。

カプシューをやらなくなった理由について質問をすると、一番大きな理由は生活形態の変化であった。現在は学校ができ、子供は学校へ行く。羊などの家畜の世話は年寄りが行うようになった。二つ目はリクサル (*rigsar*) などの新しい歌がメラ村でも流行ってきたためだという。メラ村にはテレビはないためおそらくラジオなどにより新しい歌が広まったと推察する。このことからカプシューという遊びの歌は子どもが放牧をするということと深く関わっていたことがわかる。カプシューは、8-11歳の子どもたちが放牧をする際に子ども同士でやっていたのだという。放牧以外のお正月などが集まった時には、カプシューだけでなくリクサルや土地の歌などを歌ったという。このようにカプシューは基本的には子ども同士でやるものだとわかる。たまに大人が中に入って教えたりもしていたこともあるが、大人は大体お酒を飲んでいることの方が多かったという。調査の際にも経験したが、メラ村には酒をすすめる習慣があり、酒すすめ歌を聴く機会も得られた。すすめられた酒を飲まない場合、足で膝を蹴られたり頬をつねられたりする。このようにメラ村では強く酒をすすめる習慣がみられた。

カプシューは全てメラの言葉で歌われると言うが、これまでのツァンモ調査でできたゾンカと共通する



言い回しや歌詞もみられた。

カプシュー (*khapscho*) という言葉について聞くと, *khap*は針, *sho*は入れ物を意味しており, 縫い針を入れておく入れ物を指すという。カプシューは革でつくってあり腰にぶらさげる。女たちは牛の足の骨でカプシューをつくり, 外は牛の皮でまいてありインドからもってきた貝の飾りがついている (カラーページ写真 1・2 参照)。中には針がたくさん入れてある。カプシューを振ると針はひとつずつ出てくる。そこから転じ, 掛け合い歌であるカプシューも頭を使ってひとつずつ言葉を出しましょうということを指しているのだという。

### 3.4. なぞなぞツァシグ (*tsa shi gu gu*) の実際

メラ村ではカプシュー以外にツァシグと呼ばれる質問に対して答えるなぞなぞがあった。ツァシグは, 夜並んで寝る時に子どもが遊ぶものだという。「人間に必要なものは何ですか?—水です」「便利に座るもの何ですか?—イスです」など簡単な内容のものだという。事例を次に挙げる。

1

Tsa shi gu gu …

Sai thi la dungkar thay ti chi song?

-Ri ruk in

※Dungkar 法螺貝

ツァシ グーグー… (夜の頃…)

土から法螺貝が出てるものなあと

一大根

2

Tsa shi gu gu…

Na nan la ra paktsa gu ni chi na?

-Tse ley

ツァシ グーグー… (夜の頃…)

森の中で山羊の皮を着てるのはなあと

—ツェ レイという虫

3

Tsa shi gu gu…

Zhung ma ke bi chi na?

-Nyum ma

ツァシ グーグー… (夜の頃…)

上に行く時尻尾がなくて下に来る時尻尾があるものなあと

—ニユンマという竹

(竹を取りにいく時の格好を示している。山から竹を取ってくる際, 切った竹を腰に縛り付けて降りてくるため, 尻尾のように見える。)

(写真23参照)

夜, 眠れない時にツァシグをしたのだという。昼間はやらない。カプシュー同様, 最近はもうやらないという。その理由は, 今やってもつまらないと感じるからだという。昔, 電気やテレビのない時にやるものであったという。ツァシグもカプシュー同様に勝ち負けのある勝負である。例えばAさんをメラ村, Bさんをゲンゴ村と設定する。AがBに質問をして, Bがわからない場合Aに1ポイントのゲンゴ村が入る。その次, BがAに質問する。Aが答えを当てた場合はAに1ポイントのメラ村が入る, Aがわからない場合1ポイントゲンゴ村を返す。このように村, 寺, 家, 家畜の名前を賭けて行うゲームである。

## 4. カプシューの旋律

3.3のインタビューにおいてみてきたように, メラ村のカプシューは, 歌詞を朗読するものと旋律にのせて歌うものが昔からあった。そこにさらに西からのツァンモや新しい歌などが入ったという。そこでカプシューの旋律を採譜し, 何種類の旋律がみられるかを探索を試みをした。3.2と同様に歌われた順番で考察する。掛け合いは全体で49回であった。

♩=ca.140 開始音の実音 E♭4

Je - w gi cha-ng lo - ga - song ley so - ng le - y ya  
Je - w chung ke - ki - ke - song ley so - ng le - y ya

7

la - Chang la je - w lu ga song ley so - ng ley ya  
la - Chang mo na ng se jur song ley so - ng ley ya

楽譜 1 : カプシュー 1, ⑦⑧が歌った旋律 (伊野・黒田2014)

この後、2 から 8 回目までは歌詞を朗読するもので、旋律はなかった。

開始音の実音 G♭4

Phi ri - pa-ng mey la lo la Yak chu-ng re pa - - la si si

10

Bes gu - r dung ni - ma - ta - n Yak chu-ng yong sa - min - du

楽譜 2 : カプシュー 9, ⑦が歌った旋律 (伊野・黒田2014)

♩=ca.150 開始音の実音 G4

Pang te - y tsa - ga - - - ya - ng song

6

Zo - o-mo - pe - y ka - - - la duk song

11

Zoo - mo pey ka - du - k na -

15

Nor bi la ri - k - shey in pey

楽譜 3 : カプシュー 10, ③が歌った旋律 (伊野・黒田2014)

$J=ca.135$  開始音の実音G♭3

Ya - r ya - r ri - bi tse - la - Ki - phu - pha ju - k tsu - r juk

Jin - pa - tup ni - ma - to Dom dom la phi sa minu

楽譜 4：カプシュ 11, ⑤が歌った旋律（伊野・黒田2014）

$J=ca.140$  開始音の実音G4

O - ro na - m la - la gi - n - sho

Go - nga - sa - la - la lu song

O - ro nin - ji - yoe - na -

Go nga la le - n dro phi sho

楽譜 5：カプシュ 12, ③が歌った旋律（伊野・黒田2014）

カプシュ 13回目は, ⑥が朗読し, 旋律はなかった。

$J=ca.160$  開始音の実音G4

Lha - sa la do - p zha - la te - n la

Go - to - kha - r - po - la ney song

Go - to khar - po - ma - re - y

Lha - sa la kha - r - po - jur - song

楽譜 6：カプシュ 14, ③が歌った旋律（伊野・黒田2014）

$J=ca.158$  開始音の実音G4

Kar - yu \_ ka - r - sang \_ \_ \_ la nang la

6 Sen - gi \_ wo - ma \_ \_ \_ la lu yoe

11 Rong - sem ga - we \_ mi \_ la \_

15 Wo - ma \_ zhey la phi song

楽譜 7 : カブシュー 15, ⑦⑧が歌った旋律 (伊野・黒田2014)

$J=ca.170$  開始音の実音G4

Tsen - de - n do - ng pey \_ \_ \_ la tse - la

6 Te - y nya - n wo - k-pa \_ \_ \_ la ney song

11 Cha - ki kam - pa \_ khu - r sho \_

15 Wok - pa la ma - r - shey thang go

楽譜 8 : カブシュー 16, ③が歌った旋律 (伊野・黒田2014)

$J=ca.120$  開始音の実音E3

Choe ni la ne-n-bu na - k - po Kha - do la jur sa min - du

9 Nga ni ne-n-bu \_ kha - r - po Khar do la ga ley jur jur

楽譜 9 : カブシュー 17, ⑤が歌った旋律 (伊野・黒田2014)



$J=ca.154$  開始音の実音C#4

Choe ni gu-r-shi cho-e - ma \_ Nga ni mar-gi \_ choe - ma

9 Lha-khang chi-gi \_ na-ng \_ la \_ \_ Gya - wo \_ su \_ yu gayo tang gu

楽譜10：カプシュ 18, ③が歌った旋律（伊野・黒田2014）

$J=ca.144$  開始音の実音C#3

Phi ri pa-ng mey lo \_ la Ji \_ chu-ng cha cha \_ chi chi

9 Ke chi ha ni \_ ma \_ go \_ \_ Rang sem zu ni doe - wong

楽譜11：カプシュ 19, ⑤が歌った旋律（伊野・黒田2014）

$J=ca.144$  開始音の実音C#3

Phi ri pa-ng me lo \_ \_ la Men-to na - me nat - so

9 Mik-la tsu - pe - i men - to \_ \_ Chik-da ni \_ ley min - du

楽譜12：カプシュ 20, ①②が歌った旋律（伊野・黒田2014）

$J=ca.156$  開始音の実音C3

Duk-shing tak-ki me-n - to Lha lha phi sa mi - Khan-jam

10 ding gi - ke - i chi - i Nga la dro sa mi

楽譜13：カプシュ 21, ⑤⑥が歌った旋律（伊野・黒田2014）

J=ca.175 開始音の実音C4

Shing chi ba-ng ba la-k-pa To shing re yang mi-re

9 Chu-mo ja \_ ra \_ \_ \_ ji ri \_ To chu re yang mi-re

17 Mi chi ya - ma tha \_ ma Nyen-dro re yang mi-re

楽譜14：カプシュー 22, ①②が歌った旋律（伊野・黒田2014）

J=ca.72 開始音の実音=Bb2

Ri-n-che-n ser gi - n-gu - - tri - - - Ta-k-po - cha na - cha - - so-ng

7 Ley nga-n trang - mo - nga - ra - - - ng Chani - duksa - min - du

楽譜15：カプシュー追加2回目, ⑧が歌った旋律（伊野・黒田2014）

冒頭1回目の⑦⑧が歌った旋律を旋律Aとする。その後2から8回目までは②と⑦が交互に朗読した。9回目⑦は最初とは異なる旋律で歌った。これを旋律Bとする。その後続けて10回目は③が旋律Bで歌った。11回目、ここで初めて歌う⑤がこれまでと異なる旋律を歌う。これを旋律Cとする。12-16回目は再び旋律Bが続いたが、17回目⑤が異なる旋律で歌う。これを旋律Dとする。その後この旋律Dが続くかたちとなった。歌の回数、歌った人、旋律を表に示す。

回数	歌い手	旋律型	回数	歌い手	旋律型
1回目	⑦⑧	旋律A	27回目	⑤ (⑥)	旋律D
2回目	②	旋律なし	28回目	② (①)	旋律D
3回目	⑦	旋律なし	29回目	⑦ (⑧)	旋律D
4回目	②	旋律なし	30回目	② (①)	旋律D
5回目	⑦	旋律なし	31回目	⑤	旋律D
6回目	②	旋律なし	32回目	② (①)	旋律D
7回目	⑦	旋律なし	33回目	⑦ (⑧)	旋律D
8回目	②	旋律なし	34回目	② (①)	旋律D
9回目	⑦	旋律B	35回目	⑥	旋律なし
10回目	③ (②)	旋律B	36回目	② (①)	旋律D
11回目	⑤	旋律C	37回目	⑤	旋律D
12回目	③ (②)	旋律B	38回目	② (①)	旋律D
13回目	⑥	旋律なし	39回目	⑦ (⑧)	旋律D
14回目	③ (②)	旋律B	40回目	② (①)	旋律D
15回目	⑦ (⑧)	旋律B	41回目	⑤	旋律D
16回目	③ (②)	旋律B	42回目	② (①)	旋律D
17回目	⑤	旋律D	43回目	⑤	旋律D
18回目	③ (②)	旋律D	44回目	② (①)	旋律D
19回目	⑤	旋律D	45回目	⑤ (⑥)	旋律D
20回目	② (①)	旋律D	46回目	② (①)	旋律D
21回目	⑤ (⑥)	旋律D	47回目	⑥⑧	旋律D
22回目	② (①)	旋律D	48回目	②	旋律D
23回目	⑦	旋律D	49回目	⑥⑦⑧	旋律D
24回目	② (①)	旋律D			
25回目	⑦	旋律D	追加1回目	⑤	旋律C
26回目	② (①)	旋律D	追加2回目	⑧	旋律E

表1：回数、歌い手、旋律型の表

(( ))内の歌い手は歌詞を教えた人もしくは補助的に歌った人を示す)

掛け合いとしては、全体的には⑦と②の対決であり、後半そこに⑤が入るかたちとなった。というのも、10回目から旋律Bを歌った③は歌う前に②から歌詞を耳打ちされていたためである。③は歌うことは得意だが歌詞はあまり知らない。逆に②は歌詞をたくさん知っているが旋律Bでは歌えないことがわかる。11回目から歌いはじめた⑤は、17回目からは一貫して旋律Dを歌う。これに影響されたのか、後半は最後まで旋律Dで歌われた。20回目からは旋律Bでは歌わなかった②が旋律Dで歌っている。ただし調査の日は声あまり出ないということで①と一緒に歌っていた。⑤は歌詞をたくさん知っているだけでなく自作の歌詞もあるようであった。というのは、31回目や37回目、41回目で⑤が歌うと全員が大笑いをしていたためである。また⑤は、32回目あたりから②や⑦が歌詞を思いだせず何度も歌いなおしたり、歌いだすのに時間がかかっていたところ、掛け合いが続くように促す様子もみられた。37回目の⑤の歌詞を聴いて38回目の②、39回目の⑦が類似構造の歌詞で歌い返しているが、これも⑤の影響と思われる。

今回の調査からカプシュは、旋律がなく朗誦されるもの、旋律を伴って歌われるものに大別された。また、後者については、主に旋律B・Dで歌われた。旋律A・C・Dは、一度しか歌われなかったため、その枠組みやメラにおける認知度について、さらに検討する必要がある。旋律Bはこれまでのプナカやトンサでのツァンモ調査でも聴かれたツァンモのスタンダードの旋律である。そのため本来メラ村にはない、西から入ってきた旋律であることが推測できる。旋律Dは全員が歌うことができるものであり、最も多く歌われたため

メラ村のカプシューの一般的な旋律であると推測できる。

## 5. おわりに

今回、これまで知られていなかったメラ村の歌謡カプシューとなぞなぞツァシググの実際についての調査結果を報告した。またツァンモ同様、生活形態が変化したため現在は歌われない、まさに目の前で消えつつある状況であることも確認できた。

これまで行ってきたツァンモとの関係（言語、旋律）、他地域との比較については、別稿にて分析、記述したい。

### 【文献・資料】

- 伊野義博, 2012, 「ブータン歌謡ツァンモ―掛け合いと占いの諸相―」, 『民俗音楽研究』第37号, 日本民俗音楽学会, pp.1-12.
- 伊野義博, 黒田清子, 2014, 「ブータンのツァンモ, 占いと掛け合いの諸相―プナカにおける調査から―」, 『民俗音楽研究』第38号, 日本民俗音楽学会, pp.37-48.
- 伊野義博, 尾見敦子, 黒田清子, 権藤敦子, 山本幸正, Tshewang Tashi, Pema Wangchuk, 2014, 「ブータン歌謡ツァンモの実際―トンサ県ツァンカ村とタンシジ村の場合―」, 『新潟大学教育学部研究紀要』第7巻第1号, pp.81-99.
- 脇田道子, 2007, 「インドとの国境山岳地帯, 東ブータン・メラ, サクテンの遊牧民」, 『インド考古研究』, インド考古研究会, pp.117-124.
- 脇田道子, 2010, 「ブータン東部におけるツーリズム導入に関する一考察―メラとサクテンの事例から―」, 『慶応義塾大学大学院社会学研究科紀要』第70号, pp.31-53.
- Chand, Raghubir, 2004, *Brokpas: The hidden highlanders of Bhutan*. Nainital: PAHAR.
- Ministry of Works and Human Settlement, 2014, Merak map. (調査の際, メラ村に生業調査に来ていた MoWHs スタッフより複写したもの)
- Royal Government of Bhutan, Dzongkhag Administration, Trashigang (<http://www.trashigang.gov.bt/news.php> 2014年11月11日閲覧).
- Sonam Wangmo, 1990, The Brokpas: A Semi-nomadic People in Eastern Bhutan. In *Himalayan Environment and Culture*. Rustamji, Nari K. and Charles Ramble (eds.) pp.141-158. Shimla: Indian Institute of Advanced Study/ New Delhi: Indus Publishing Company.





写真1：腰につけたカプシュー（伊野2014）



写真2：カプシュー（伊野2014）



写真3：弓と矢、アーチェリーの様子（伊野2014）



写真4：空と雲の間（伊野2014）



写真5：（歌詞冒頭に出てくる）少し離れた遠い所（伊野2014）



写真6：羊の糞（伊野2014）





写真7：赤珊瑚とトルコ石の首飾り（伊野2014）



写真8：ヤクの毛のカバン（伊野2014）



写真9：ゾーとゾーモ（伊野2014）



写真10：メラの犬（ベマウォンチュク2014）



写真11：ワタリガラス（伊野2014）



写真12：白い鶏（伊野2014）





写真13：しゃくなげの花（ベマウォンチュク2014）



写真14：新婦が被る布ダダル（伊野2014）



写真15：新郎新婦の衣装（黒田2014）





写真16：黒い羊、白い羊（伊野2014）



写真17：チオルテン（伊野2014）



写真18：米と水をまぜるツイブザ（ペマウオンチュク2014）



写真19：ほうき（伊野2014）





写真20：白い犬（伊野2014）



写真21：白い旗（伊野2014）



写真22：さるおがせ（伊野2014）



写真23：竹で編まれたバシー（伊野2014）